

平成21年3月25日

報道各位

日本空港ビルディング株式会社

太陽光発電システム導入について～羽田空港旅客ターミナルビルでの太陽光発電を活用したCO₂削減の取り組み～

日本空港ビルディング株式会社は、羽田空港旅客ターミナルビルにおける地球温暖化対策につきまして、平成17年度から5カ年計画で温室効果ガスの削減対策に取り組んでまいりました。その結果、空調機のインバータ化などによって当初設定された都条例の削減目標値（6%）を達成できる見込みとなっています。

このような状況の中、昨年6月に東京都が平成22年度以降のCO₂削減義務化条例を制定され、基準排出量に対してどれだけ削減できたかが評価されることや、羽田空港旅客ターミナルビルが極めて公共性の高い施設であり、CO₂を排出しない自然エネルギーを活用することが社会的使命として求められていること等に鑑み、当社として自然エネルギーの中で注目度の高い太陽光発電システムを下記のとおり導入することといたしました。詳細につきましては、東京電力グループのご協力を得て進めさせていただくこととし、当ターミナルビルの環境負荷の低減に向け積極的に取り組んでまいります。

記

1. 設置場所

- (1) 第1旅客ターミナルビル（1PTB）屋上 4カ所
- (2) 第2旅客ターミナルビル（2PTB）屋上 2カ所
- (3) P4本格立体駐車場棟（P4立駐）屋上 1カ所・・・別図1参照

2. 太陽光発電設備の概要

| 設置場所 | 設置面積 (㎡) | 発電容量 (KW) | CO ₂ 削減量 (t-CO ₂ /年) |
|------|-------------|--------------|---|
| 1PTB | 5,680 | 790 | 279 |
| 2PTB | 1,440 | 150 | 54 |
| P4立駐 | 3,000 | 300 | 106 |
| 計 | 10,120 | 1,240 | 439 |

3. 供給開始予定

(1) 1PTB 及び 2PTB

(2) P4 立体駐車場

平成 22 年 3 月

平成 22 年 9 月

4. 別添資料

別図 1

以 上

<注意>

本発表資料には、将来に関する記述が含まれています。こうした記述はリスクや不確実性を内包するものであり、経営環境の変化などにより実際とは異なる可能性があることにご留意ください。また、本発表資料は、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

【問い合わせ】

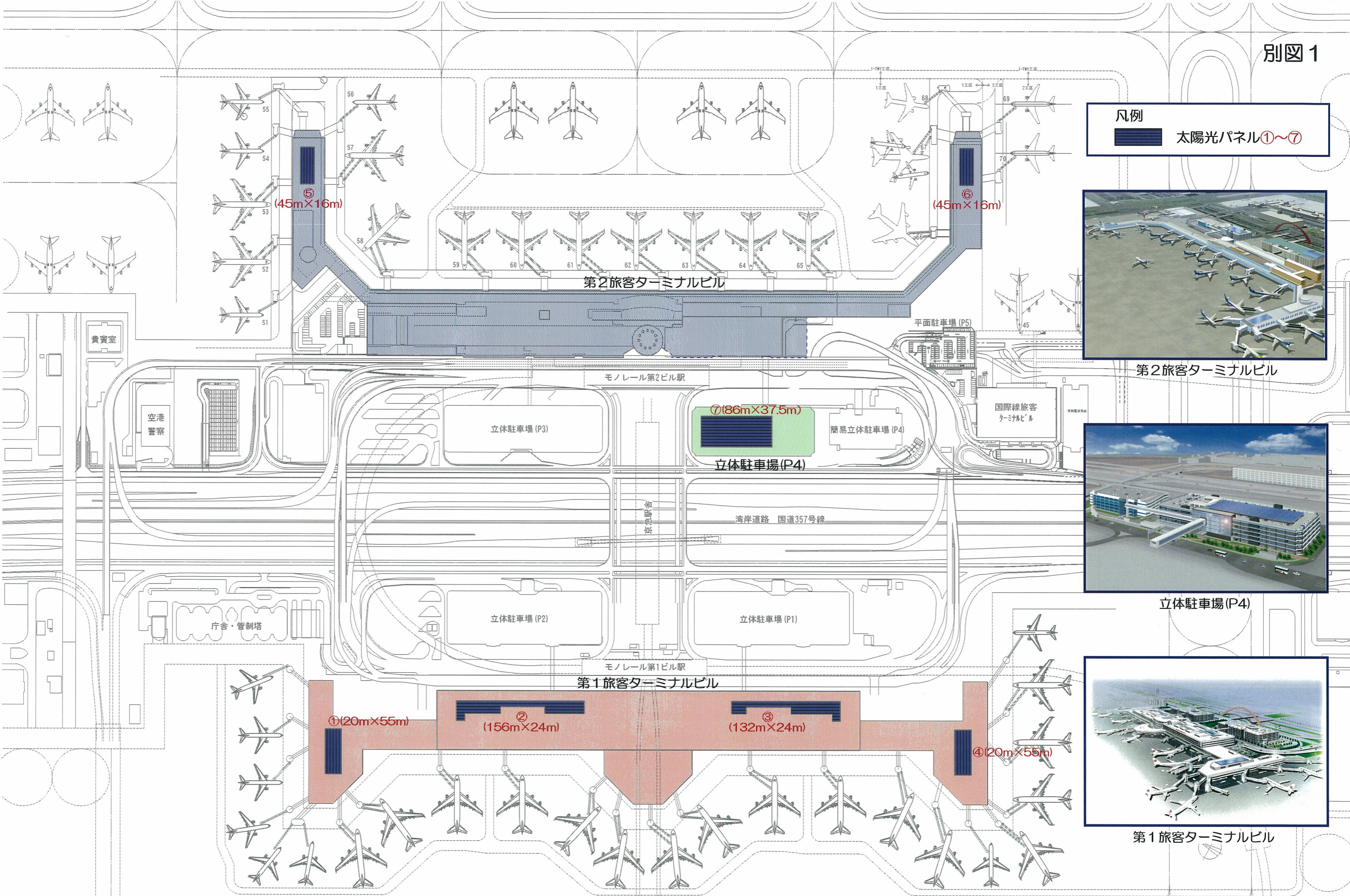
日本空港ビルデング株式会社

施設・安全本部

施設部 施設管理運用課

TEL 03-5757-8225

FAX 03-5757-8035



東京国際空港旅客ターミナルビル 太陽光発電パネル 全体配置図